

平成28年度 学校評価実施報告書

学校名(双ヶ丘中学校)

1 1回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(前年度評価を踏まえた) 自校の取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善	授業において毎時間の「学習課題(めあて・目標)」の提示を徹底する。授業内での言語活動を充実させる。	・生徒の話す・聞く態度の変容・全国学力調査や学習確認プログラムの結果
	家庭学習の習慣化	家庭学習の充実に向けて、適切な課題の提示、点検・返却。学習計画表を作成させる。	自分に合う学習方法を見つけて、家庭学習に取り組んでいますか。
	コミュニケーション能力の育成	言語活動充実を意識した授業のあり方を考える。教科会の充実をはかる。	全国調査や研究授業の授業研修会の内容。
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	道徳教育の充実をはかる。様々な場面を通して規範意識、自尊感情、自己有用感の醸成をはかる。いじめを見逃さず暴力を許さない生徒を育成する。	きまりをしっかり守れていますか。自分には、よいところがあると感じますか。
	自他を大切にする態度の育成	チャレンジ体験や修学旅行はもとより、生徒会等の取組活動の取組。	チャレンジ活動や修学旅行などの学校行事に積極的に取り組んでいますか。
健やかな体	基本生活習慣の確立	各種保健調査や遅刻やベル準点検の取組。基本的生活習慣の確立に向け、早寝・早起き・朝ごはんの呼びかけ	全国調査の結果。
	体力の向上	体育大会や部活動の充実に向けた取組。	取組記録や保健調査。
独自の項目	小中一貫教育の推進	生徒会による小学生への読み聞かせを実施する。教職員の小中合同研修会を行い、連携強化や意思疎通の充実をはかる。	小中の連携がうまくとれていますか。地域の小学生の手本になるような言動ができていますか。



・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	
	評価者・組織	学校評価委員会
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	分析を踏まえた改善策
全国学力調査の国語、数学の調査結果が全市平均より7～8ポイント上である	多様な取組や活動の効果がでてきている。ただ、学力の格差が広がっている点が課題である。	学力分析をていねいに細かく行い、見落としのない指導を継続する。
平日に、2時間以上家庭学習する割合が約35%である。また、平日に30分以上読書する割合は約55%である。	家庭学習も定着してきている。自学自習の一層の推進が必要である。	家庭学習充実に向けて「学習のすすめ」の発行を続ける。
授業で、話し合う活動をよく行った割合は約85%である。	授業中の話し合い活動は充実してきている。話し合うテーマの精選が必要である。	話し合い活動を一層充実させるために、教職員研修を活性化させたい。
きまりをしっかり守れている割合は、95%以上。自分には、よいところがあると感じているのは約75%である。	規律ある生活習慣とルールを守る態度は向上している。さらなる自己有用感の高揚が課題である。	生徒の意識を高める活動を継続していきたい。
80%以上の生徒が取り組んでいると答えている。	生徒の自主的な活動を一層推進していく必要がある。	道徳教育をさらに推進して、自他を大切に、思いやりの心の育成など内面的な実践力を養う。
9割以上の生徒が、朝食を食べていると答え、9割以上の生徒が、同じ時刻に起きていると答えている。	保健だよりを定期的に発行して意識の喚起を行った。保護者への啓発を今後は進めていきたい。	保護者とも協力し、基本的生活習慣の確立に向けて指導を続ける。
一人一人の生徒が輝く体育大会が実施できた。部活動も活発である。	自己有用感を育成するためにも部活動指導にさらに力を入れていきたい。	多様な生徒の意見に配慮し指導に活かしていく。
生徒会と児童会の合同会議を夏休みに実施し、連携をとった。	小中9年間で児童・生徒を育成する視点を持ち、今後も取組を進めたい。その中で小中9年間のルールやマナーの見直しを行っていく。	小中合同の研修会やお互いの授業参観を通して、小中の連携をさらに推進する。



学校関係者評価	
評価日	平成28年10月19日
評価者 (いずれかに○)	学校運営協議会
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
学校が落ち着き、話し合い活動の充実など生徒に考えさせる授業ができています。図書館の蔵書も豊富になっているので、図書館の有効活用をさらに進めていってほしい。 「授業改善」の取組で学力の向上を図っていることに理解を得た。	多様な考え方を尊重し、正しいことを選択する力を身につけるために、学校・家庭・地域のさらなる連携を進めたい。
規範意識の向上について「あいさつ」の励行など取組を続けたい。生徒が自ら進んで地域の方に「あいさつ」をしてほしいという意見が出た。	生徒が楽しく学校に通っており、学校行事や生徒会活動に対しても充実感を感じている。家庭との連携にさらに力を入れていきたい。
基本的生活習慣を確立するためには家庭の教育力の向上と家庭の協力が不可欠である。学校は、家庭への働きかけを継続してもらいたい。	地域ぐるみで基本的な生活習慣の確立や交通安全などについて働きかけを進めていきたい。防災意識の向上も図っていきたい。
今後も校下4校の連携を充実させてもらいたい。生徒会・児童会の連携は特に期待したい。	学校運営協議会の主催で御室・宇多野・花園の消防分団に協力いただき、救命救急講習を行いたい。